

4月も半ばを迎え、明野町の各神社の春季例大祭も、盛況のうちに無事終了しました。今回、当法人で行っている「おかぐらチャレンジ教室」に参加している子ども達は、4つの神社例大祭に参加させていただきました。(内海)

第二日曜は、北組地区の宇波刀神社と浅尾新田地区の諏訪大神社の例大祭。宇波刀神社では6年生の女の子二人が四方の舞を奉納しました。今まで、北組地区の女の子の神楽教室参加者はおらず、宇波刀神社で女の子が神楽を奉納するのは今年が初。

元々、神楽は男性が奉納するもので、特に経産した女性が神楽殿に上がることは禁忌とされていました。若い女子の場合も、奉納できるのは特定の舞である、浦安の舞のみ。時代が流れ、最近では女子の奉納を許可する神社も増えてきました。今回も、宇波刀神社の氏子総代と神楽保存会の皆様のご好意で奉納させていただきました。



四方の舞



四方の舞



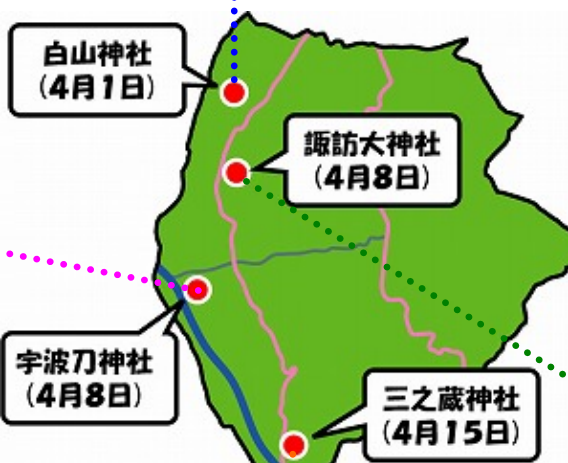
第一日曜は、上神取地区の白山神社の例大祭。「おかぐらチャレンジ教室」のベテランさんの中学3年の男の子が、猿田彦命の舞を奉納しました。当日は、お天気は良いものの風が強く、面を着けての舞のため視界が狭くなるので、神楽殿の大きさを把握するのが難しかったと思うのですが、そこはさすがベテラン。「風が強くて舞にくかった」と後で漏らしていましたが、体に染み付いた感覚があるのでしょうか、全然そのようには見えませんでした。



猿田彦命の舞



四方の舞



諏訪大神社も子ども達が神楽を奉納するのは初めて。中学生の男の子と、浅尾地区の小学生～中学生の男女4人が、四方の舞と二人剣の舞を奉納しました。諏訪大神社の例大祭は、毎年盛況なことで有名なのですが、「今年は子ども達の神楽があったからより盛り上がったよ。来年もぜひよろしく」とのお言葉をいただきました。

参加した子ども達のほとんどが、神楽教室2年目以上の経験者。奉納した舞以外にもレパトリーがあり、予定外の舞も披露することに。突然のことにも動じず、みんな堂々と舞っていました。

第三日曜は三之蔵神社の例大祭。茅屋根の葺き替えが行われたばかりの神楽殿での神楽の奉納です。拝殿・神楽殿での清めの祝詞があげられた後、神楽殿の落成式が行われ、その後、上手地区三嶋神社神楽保存会による神楽奉納と、子ども達による神楽の奉納が行われました。舞った子ども達は、三之蔵地区の子ども達4名と、明野町外(大泉・長坂・武川)を含む三之蔵地区外の子も達6名、計10名。全員が神楽教室1年生だったので、四方の舞を奉納しました。埋文センターでの発表会の時とは違い、位置が高い神楽殿で舞うということと、観衆が多いことで緊張もしたかと思いますが、みんな頑張りました。終わった後は、晴れ晴れとした表情で祭りに参加していました。

古くは、明野地区の多くの神社で神楽の奉納がされていましたが、現在では絶えてしまったところもあります。逆に、一度絶えた神楽を復活させた三嶋神社や諏訪大神社のようなところもあります。時代が移り行く中で、伝統を受け継いでいくことは容易なことではありません。しかし、そのような中で、神楽の舞を習いたいという子どもがたくさんいたり、例大祭で神楽の真似をする子ども達、その様子を楽しそうに眺める大人達を見ると、明野町の神楽の未来は暗くない、と思います。たくさんの方が神楽に興味を持ち、神楽保存にご協力くださることを願ってやみません。



三之蔵神社 春の例大祭
完成した神楽殿の落成式が行われました!



総代長
小泉透さん

三之蔵神社の例大祭に併せて、神楽殿の落成式が行われました。式には、総代長をはじめとした神社氏子のみなさん、屋根葺き職人の加々美栄さん、杉寄靖司さん、石川工務所の松田部長さん、講師として事業に参加して下さった文化財建造物保存技術協会の高木裕雄樹さんも出席され、葺き上がった神楽殿の下、それぞれスピーチをされました。



落成式の後は例大祭と神楽の奉納です。神社の境内には地域の方々が大勢集まり、落成を祝いました。焼きそばや焼き鳥などの出店も賑わいをみせ、楽しい空気の中で、子ども達の神楽にも大きな拍手がよせられていました。



神楽殿で毎年のように神楽が奉納され、地域の人々に親しまれ、そして、今回の茅葺き技術の保存伝承事業に関わった人達を中心に今後も神楽殿が手入れされ、茅葺きの技術が伝えられることを祈っています。

=まいぶん・れきみんからのお知らせ=

北杜市埋蔵文化財センターと明野歴史民俗資料館は、4月20日(金)～5月10日(木)の間、土日および祝祭日も開館しています。皆様どうぞお立ち寄りください。

=ドキドキ! まいぶんシリーズ=

5月の予定～

● **楽しい手話教室**

クイズやゲームをしながら、手話を覚えよう。
日にち：5月2日(水) 午後5時～7時

● **Special イベント・昔の畑作り体験!**

いろいろな野菜の種をまいてみよう!
終わった後には、縄文食のおやつもあるよ♪
日にち：5月3日(木・祝) 午前10時～12時

● **Let's 縄文体験!!**

土器の底の模様を再現したコースターを作ろう!
日にち：5月10日(木) 午後5時～7時

● **やさしい囲碁教室**

初心者でも大丈夫! 楽しく囲碁を覚えよう。
日にち：5月14日(月) 午後5時～7時

● **初めての茶道教室**

お茶のお作法を覚えよう。美味しいお菓子もあるよ!
日にち：5月25日(金) 午後5時～7時

まいぶんシリーズ、参加者申し込み受付中!!

お問い合わせは茅ヶ岳歴史文化研究所まで。

TEL/FAX: 0551-25-2019

=会員募集=

～茅ヶ岳歴史文化研究所の活動に

あなたの力をかしてください～

こんなことをやってみたい!

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
 - 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
 - イベントを通じてさまざまな人と交流したい
- 茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

入会金 1,000円

年会費 5,000円

=編集後記=

一年の五穀豊穰・無病息災を願う春の例大祭。昔は例大祭の後から本格的に農作業が始まったため、人々はより、このハレの日を楽しんでいたということです。三之蔵地区では、新しい神楽殿での例大祭が行われました。地域の意志と力で完成した神楽殿は、きっと三之蔵の宝となっていくことでしょう。

かやぶんかわら版 第25号

平成19年4月17日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所
〒407-0204 北杜市明野町上手8310
明野歴史民俗資料館内

TEL/FAX 0551-25-2019

ホームページ <http://www.kaya-net.jp>